

研究課題	健康長寿社会を支える最先端人支援技術研究プログラム		
中心研究者氏名	山海嘉之		
中心研究者所属	国立大学法人 筑波大学		
研究支援担当機関	国立大学法人 筑波大学		
主担当議員	奥村直樹	副担当議員	相澤益男

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	416,667 万円	194,654 万円	194,654 万円
間接経費	経費 B	41,671 万円	- 万円	19,467 万円
	経費 C	41,662 万円	- 万円	19,463 万円
合計		500,000 万円	- 万円	233,585 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	416,667 万円	194,654 万円	194,654 万円
合計	416,667 万円	194,654 万円	194,654 万円

査定理由
○ 直接経費について 再提出された研究計画には以下の問題があったことから、中心研究者からのヒアリングを行った。その結果、下記懸念を払拭するには至らなかったことから、本研究課題については、より基礎的な研究開発に注力することによって、目的を着実に達成することが適切であり、このために必要となる適切な予算規模に圧縮することが妥当と判断した。 ・ fMRI が高額化された理由が不明であり、また、本研究開発における必要性が明確ではない。 ・ 人件費や旅費についても大きな割合を占めているが、研究終了後のポスドクの新たな雇用先確保が懸念されるため、1／3程度とすべき。 ・ 研究協力者がどのような研究内容を行い、いくら必要なのか研究計画に明確にされておらず、総じて本プログラムに対するエフォート率が低い。 ・ プラグスーツについては、電気信号をどう捉えるか等、学術的に不明確な点が多く、実用化を直ちに目指すのではなく、まず、基礎研究を重点的にを行い、次の展開の糧とすべきと考えられるので、縮減が可能と思われる。 ・ 全般的には、目標を明確にし、現状から次のステップへの道程を研究計画にしっかり織り込んでいくべき。 ○ 間接経費について ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、中心研究者が再提出時に示した経費 A・B・C の比率を乗じて算出された額とする。

研究課題	持続的発展を見据えた「分子追跡放射線治療装置」の開発		
中心研究者氏名	白土 博樹		
中心研究者所属	国立大学法人 北海道大学		
研究支援担当機関	国立大学法人 北海道大学		
主担当議員	相澤 益男	副担当議員	本庶 佑

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	416,700 万円	300,000 万円	300,000 万円
間接経費	経費 B	35,444 万円	- 万円	25,518 万円
	経費 C	47,856 万円	- 万円	34,454 万円
合計		500,000 万円	- 万円	359,972 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ 1	349,500 万円	300,000 万円	300,000 万円
サブテーマ 2	67,200 万円		
合計	416,700 万円	300,000 万円	300,000 万円

査定理由
○ 直接経費について 本研究開発は装置開発が中心であるが、今般の見直しにより当初計画より 3 割程度経費を縮減して同等の装置を開発する計画が再提出された。その経費削減手法・費用負担の考え方について、十分に確認することが必要であると考えられたことから、中心研究者及び共同提案者からのヒアリングを実施した。 その結果、装置の小型化・高効率化、参画企業の負担増等の各種節約により一定程度の経費削減が可能であることを確認した。また、収容施設の整備等の費用負担の現状についても明らかとなった。 これらを踏まえ、本プログラムに係る全体予算が縮減された事に鑑み、サブテーマ 1 と 2 共に研究目標達成のため、研究支援担当機関や参画企業にも更なる協力を求めることを前提とした上で、最小限の金額とすることとした。 ○ 間接経費について 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、中心研究者が再提出時に示した経費 A・B・C の比率を乗じて算出された額とする。

研究課題	低炭素社会に資する有機系太陽電池の開発～複数の産業群の連携による次世代太陽電池技術開発と新産業創成～		
中心研究者氏名	瀬川 浩司		
中心研究者所属	国立大学法人 東京大学		
研究支援担当機関	独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構		
主担当議員	奥村直樹	副担当議員	白石隆

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	456,481 万円	280,000 万円	280,000 万円
間接経費	経費 B	17,632 万円	- 万円	10,815 万円
	経費 C	25,887 万円	- 万円	15,879 万円
合計		500,000 万円	- 万円	306,694 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	89,930 万円	55,200 万円	55,200 万円
サブテーマ2	60,000 万円	36,780 万円	36,780 万円
サブテーマ3	17,950 万円	11,100 万円	11,100 万円
サブテーマ4	15,521 万円	9,520 万円	9,520 万円
サブテーマ5	10,000 万円	6,130 万円	6,130 万円
サブテーマ6	7,809 万円	4,790 万円	4,790 万円
サブテーマ7	11,910 万円	7,300 万円	7,300 万円
サブテーマ8	15,000 万円	9,200 万円	9,200 万円
サブテーマ9	10,040 万円	6,150 万円	6,150 万円
サブテーマ10	9,406 万円	5,760 万円	5,760 万円
サブテーマ11	42,600 万円	26,110 万円	26,110 万円
サブテーマ12	51,520 万円	31,580 万円	31,580 万円
サブテーマ13	34,465 万円	21,130 万円	21,130 万円
サブテーマ14	80,330 万円	49,250 万円	49,250 万円
合計	456,481 万円	280,000 万円	280,000 万円

※ 次ページへ続く

査定理由

○ 直接経費について

- ・ 強い産学連携が必要な分野であり、わが国のトップ企業の参加を担保させることが必要である。計画書にはこの点の記述が弱い。
- ・ 多くのサブテーマがあるが、どれも必要なテーマである。しかしながら、重複するものやプロジェクト内で連携・協力などすれば削減できる装置などがある。
- ・ サブテーマを統合するなど組織・体制を見直す事により、予算の効率化が可能であると判断した。

○ 間接経費について

- ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、中心研究者が再提出時に示した経費 $A \cdot B \cdot C$ の比率を乗じて算出された額とする。

研究課題	次世代質量分析システム開発と創薬・診断への貢献		
中心研究者氏名	田中耕一		
中心研究者所属	株式会社 島津製作所		
研究支援担当機関	独立行政法人 科学技術振興機構		
主担当議員	奥村直樹	副担当議員	相澤益男

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	416,929 万円	283,500 万円	283,500 万円
間接経費	経費 B	48,278 万円	- 万円	32,828 万円
	経費 C	34,793 万円	- 万円	23,658 万円
合計		500,000 万円	- 万円	339,986 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	242,492 万円	196,400 万円	196,400 万円
サブテーマ2	131,309 万円	65,600 万円	65,600 万円
サブテーマ3	43,128 万円	21,500 万円	21,500 万円
合計	416,929 万円	283,500 万円	283,500 万円

査定理由
○ 直接経費について ・ 本研究課題は、「次世代質量分析システムの開発」、「乳がん・食道がんの新規バイオマーカー同定と創薬ターゲット探索」、「アルツハイマー病の早期診断・治療」の3つのサブテーマから構成されるものである。 ・ 次世代質量分析システムの開発を主とし、他の2テーマはアプリケーション研究に留めることで、予算の縮減を図る事が可能と判断した。 ○ 間接経費について ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、中心研究者が再提出時に示した経費 A・B・C の比率を乗じて算出された額とする。

研究課題	強相関量子科学		
中心研究者氏名	十倉好紀		
中心研究者所属	国立大学法人 東京大学		
研究支援担当機関	独立行政法人 理化学研究所		
主担当議員	相澤益男	副担当議員	奥村直樹

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	416,800 万円	258,416 万円	258,416 万円
間接経費	経費 B	41,201 万円	- 万円	25,545 万円
	経費 C	41,999 万円	- 万円	26,039 万円
合計		500,000 万円	- 万円	310,000 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	129,000 万円	79,776 万円	79,776 万円
サブテーマ2	190,800 万円	116,500 万円	116,500 万円
サブテーマ3	97,000 万円	62,140 万円	62,140 万円
合計	416,800 万円	258,416 万円	258,416 万円

査定理由
○ 直接経費について ・ 本研究課題である強相関量子科学は、エレクトロニクス、エネルギー分野への応用も期待される重要な研究領域である。 ・ しかしながら、日本における当該分野での研究者層は厚く、研究すべき材料系が多岐に渡っていることを踏まえれば、研究の進展の中でこれを絞りこむと共に、国際交流に係る予算の圧縮は相当程度可能と判断した。 ○ 間接経費について ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、中心研究者が再提出時に示した経費 A・B・C の比率を乗じて算出された額とする。

研究課題	原子分解能・ホログラフィー電子顕微鏡の開発とその応用		
中心研究者氏名	外村彰		
中心研究者所属	株式会社 日立製作所		
研究支援担当機関	独立行政法人 科学技術振興機構		
主担当議員	奥村直樹	副担当議員	相澤益男

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	436,616 万円	436,616 万円	436,616 万円
間接経費	経費 B	19,700 万円	- 万円	19,700 万円
	経費 C	43,662 万円	- 万円	43,662 万円
合計		499,978 万円	- 万円	499,978 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	436,616 万円	436,616 万円	436,616 万円
合計	436,616 万円	436,616 万円	436,616 万円

査定理由
○ 直接経費について ・ 本研究課題においては、当初に計画された目標を変えることなく、主に応用研究部分を大幅に見直すことで再提案がなされており、提案額は適切に計上されていると思われる。 ○ 間接経費について ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、中心研究者が再提出時に示した経費 A・B・C の比率を乗じて算出された額とする。

研究課題	未解決のがんと心臓病を撲滅する最適医療開発		
中心研究者氏名	永井 良三		
中心研究者所属	国立大学法人 東京大学		
研究支援担当機関	国立大学法人 東京大学		
主担当議員	相澤 益男	副担当議員	本庶 佑

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	432,500 万円	299,605 万円	299,605 万円
間接経費	経費 B	24,250 万円	- 万円	16,799 万円
	経費 C	43,250 万円	- 万円	29,961 万円
合計		500,000 万円	- 万円	346,365 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ 1	131,108 万円	117,997 万円	117,997 万円
サブテーマ2	104,948 万円	94,453 万円	94,453 万円
サブテーマ3	40,000 万円	0 万円	0 万円
サブテーマ4	40,000 万円	0 万円	0 万円
サブテーマ5	20,000 万円	10,000 万円	10,000 万円
サブテーマ6	81,444 万円	77,155 万円	77,155 万円
サブテーマ7	15,000 万円	0 万円	0 万円
合計	432,500 万円	299,605 万円	299,605 万円

査定理由
○ 直接経費について - 心臓シミュレータの技術、及び、電子カルテ情報を集約した医療情報のテーマが、特に優れた成果を上げると考える。 - 一方、サブテーマ3は予算が圧縮された本プログラムにおいては優先度が低く、サブテーマ4はプログラム期間内に創薬まで進むことは考えにくいことから、削除することが妥当と判断した。 - また、サブテーマ7は、難度が高いことから、必要に応じてサブテーマ6に組み込んで実施することが適当と判断した。 ○ 間接経費について - 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、各研究課題に対する研究支援担当機関の状況を踏まえた適切な金額とする。

研究課題	日本発の「ほどよし信頼性工学」を導入した超小型衛星による新しい宇宙開発・利用パラダイムの構築		
中心研究者氏名	中須賀真一		
中心研究者所属	国立大学法人 東京大学		
研究支援担当機関	国立大学法人 東京大学		
主担当議員	奥村直樹	副担当議員	相澤益男

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	416,667 万円	346,454 万円	346,454 万円
間接経費	経費 B	41,666 万円	- 万円	31,958 万円
	経費 C	41,666 万円	- 万円	31,958 万円
合計		499,999 万円	- 万円	410,370 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	194,656 万円	180,497 万円	180,497 万円
サブテーマ2	80,000 万円	67,043 万円	67,043 万円
サブテーマ3	40,931 万円	37,525 万円	37,525 万円
サブテーマ4	21,585 万円	20,945 万円	20,945 万円
サブテーマ5	12,945 万円	6,672 万円	6,672 万円
サブテーマ6	28,466 万円	16,220 万円	16,220 万円
サブテーマ7	21,714 万円	7,752 万円	7,752 万円
サブテーマ8	16,370 万円	9,800 万円	9,800 万円
合計	416,667 万円	346,454 万円	346,454 万円

査定理由
○ 直接経費について ・ 本研究課題は、超小型衛星を低コストで短期に開発することを目指す、挑戦的なものであり、JAXA等ではなかなか選択できないアプローチだと思われる。 ・ 但し、人件費や旅費等において削減は可能と判断した。 ○ 間接経費について ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、各研究課題に対する研究支援担当機関の状況を踏まえた適切な金額とする。

研究課題	新超電導および関連機能物質の探索と産業用超電導線材の応用		
中心研究者氏名	細野 秀雄		
中心研究者所属	国立大学法人 東京工業大学		
研究支援担当機関	国立大学法人 東京工業大学		
主担当議員	奥村直樹	副担当議員	白石隆

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	400,546 万円	270,000 万円	270,000 万円
間接経費	経費 B	41,705 万円	- 万円	27,025 万円
	経費 C	41,627 万円	- 万円	26,975 万円
合計		483,878 万円	- 万円	324,000 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	150,000 万円	120,000 万円	120,000 万円
サブテーマ2	29,989 万円	25,000 万円	25,000 万円
サブテーマ3	30,000 万円	20,000 万円	20,000 万円
サブテーマ4	20,300 万円	0 万円	0 万円
サブテーマ5	29,257 万円	20,000 万円	20,000 万円
サブテーマ6	141,000 万円	85,000 万円	85,000 万円
合計	400,546 万円	270,000 万円	270,000 万円

査定理由
○ 直接経費について - 画期的な新超伝導材料を発見した中心研究者の業績及び予算制約を勘案し、中心研究者が担当するサブテーマを中心とする予算構成とした。 - 研究分野の基礎部分と位置づけのもと、研究の範囲を限定することが望ましい。 - 各サブテーマについて、既存装置の活用や人件費などを効率化することで研究費を削減することが可能であると判断した。 ○ 間接経費について - 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、中心研究者が再提出時に示した経費 A・B・C の比率を乗じて算出された額とする。

研究課題	高性能蓄電デバイス創製に向けた革新的基盤研究		
中心研究者氏名	水野 哲孝		
中心研究者所属	国立大学法人 東京大学		
研究支援担当機関	国立大学法人 東京大学		
主担当議員	奥村直樹	副担当議員	白石隆

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	416,668 万円	240,000 万円	240,000 万円
間接経費	経費 B	41,666 万円	- 万円	22,138 万円
	経費 C	41,666 万円	- 万円	22,138 万円
合計		499,950 万円	- 万円	284,277 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	416,668 万円	240,000 万円	240,000 万円
合計	416,668 万円	240,000 万円	240,000 万円

査定理由
○ 直接経費について ・ 材料分野の世界のリーダーが多く集まって、次世代の新しい電池材料に力を注ぐ萌芽的な基礎研究として位置づけられる。このため、使用可能な既存の装置類の積極的な活用を図る等により、予算の削減が可能であると判断した。 ・ また、PD研究員の数減らす等の工夫も必要と判断した。 ・ 材料分野のリーダー達が電池分野へ挑戦することへの先行投資と期待する。 ○ 間接経費について ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、各研究課題に対する研究支援担当機関の状況を踏まえた適切な金額とする。

研究課題	宇宙の起源と未来を解き明かす超広視野イメージングと分光によるダークマター・ダークエネルギーの正体の究明		
中心研究者氏名	村山 齊		
中心研究者所属	国立大学法人 東京大学		
研究支援担当機関	国立大学法人 東京大学		
主担当議員	相澤 益男	副担当議員	奥村 直樹

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	416,662 万円	270,830 万円	270,830 万円
間接経費	経費 B	41,666 万円	- 万円	24,982 万円
	経費 C	41,666 万円	- 万円	24,982 万円
合計		499,994 万円	- 万円	320,794 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	166,817 万円	145,908 万円	145,908 万円
サブテーマ2	249,845 万円	124,922 万円	124,922 万円
合計	416,662 万円	270,830 万円	270,830 万円

査定理由
○ 直接経費について ・ 本研究課題は、超広視野イメージングによるダークマター地図の作成、広域分光器による宇宙膨張史の割り出しなどを目的としている。 ・ 必要予算は、分光器とイメージング装置の開発に大別される。 ・ イメージング装置は、科学研究費補助金特定領域研究と連携することにより予算の圧縮が可能と推定される。 ・ 分光器については、予算削減により国際共同研究に切り替えているが、これが確実に調達できないと本研究開発自体が開始不能となる。この点について聴取したところ、共同研究機関等より協力が確約されている旨を確認した。 ○ 間接経費について ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、各研究課題に対する研究支援担当機関の状況を踏まえた適切な金額とする。

研究課題	高次精神活動の分子基盤解明とその制御法の開発		
中心研究者氏名	柳沢 正史		
中心研究者所属	テキサス大学		
研究支援担当機関	国立大学法人 筑波大学		
主担当議員	本庶 佑	副担当議員	白石 隆

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	408,962 万円	150,000 万円	150,000 万円
間接経費	経費 B	41,671 万円	- 万円	15,284 万円
	経費 C	40,121 万円	- 万円	14,716 万円
合計		490,754 万円	- 万円	180,000 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	199,822 万円	150,000 万円	150,000 万円
サブテーマ2	130,000 万円	0 万円	0 万円
サブテーマ3	79,140 万円	0 万円	0 万円
合計	408,962 万円	150,000 万円	150,000 万円

査定理由
○ 直接経費について ・ サブテーマ2、3は、すでに製薬企業で確立した手法を適用するものであり、本最先端研究開発プログラムになじまない研究開発であるとする。 ・ 本研究開発では中心研究者が国外の大学に所属し、これを変更しないこととしているため、成果等に係る知的財産権等の取り扱いについて聴取し、研究支援担当機関と案分する見通しであることを確認した。 ○ サブテーマ2、3について ・ すでに確立した手法を適用するものであり、本研究テーマより削除することが適切と判断する。 ○ 間接経費について ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、中心研究者が再提出時に示した経費 A・B・C の比率を乗じて算出された額とする。

研究課題	iPS 細胞再生医療応用プロジェクト		
中心研究者氏名	山中 伸弥		
中心研究者所属	国立大学法人 京都大学		
研究支援担当機関	国立大学法人 京都大学		
主担当議員	本庶 佑	副担当議員	白石 隆

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	416,800 万円	416,800 万円	416,800 万円
間接経費	経費 B	61,694 万円	- 万円	61,694 万円
	経費 C	21,506 万円	- 万円	21,506 万円
合計		500,000 万円	- 万円	500,000 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ 1	236,800 万円	416,800 万円	416,800 万円
サブテーマ 2	20,000 万円	- 万円	- 万円
サブテーマ 3	20,000 万円	- 万円	- 万円
サブテーマ 4	20,000 万円	- 万円	- 万円
サブテーマ 5	120,000 万円	- 万円	- 万円
合計	416,800 万円	416,800 万円	416,800 万円

査定理由
○ 直接経費について ・ 本研究の主目的である iPS 細胞の標準化に研究資源を集中することが適切であり、そのため他のサブテーマに配分予定の資金を全て中心研究者が率いるサブテーマ 1 に集中することが必要である。 ・ 一方、金額については、本研究の先進性、社会にもたらすインパクト等の点も考慮しつつ、要求総額の通りすべきと考える。 ○ サブテーマ 1 について ・ サブテーマ 2～5 までの金額を併せた金額とする。 ○ サブテーマ 2～5 ・ 各サブテーマリーダーのエフォート率が低いことも勘案し、認めない。 ○ 間接経費について ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、中心研究者が再提出時に示した経費 A・B・C の比率を乗じて算出された額とする。

研究課題	量子情報処理プロジェクト		
中心研究者氏名	山本喜久		
中心研究者所属	国立情報学研究所		
研究支援担当機関	国立情報学研究所		
主担当議員	相澤益男	副担当議員	奥村直樹

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	418,386 万円	271,951 万円	271,951 万円
間接経費	経費 B	43,826 万円	- 万円	28,487 万円
	経費 C	37,788 万円	- 万円	24,562 万円
合計		500,000 万円	- 万円	325,000 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	67,386 万円	152,316 万円	152,316 万円
サブテーマ2	50,000 万円		
サブテーマ3	45,000 万円		
サブテーマ4	40,000 万円		
サブテーマ5	30,000 万円		
サブテーマ6	21,000 万円		
サブテーマ7	85,000 万円	65,000 万円	65,000 万円
サブテーマ8	80,000 万円	54,635 万円	54,635 万円
合計	418,386 万円	271,951 万円	271,951 万円

査定理由
○ 直接経費について ・ 本研究課題は、量子情報に関する研究で世界を先導する中心研究者等が作成した計画であり、学術的には極めて優れたものである。 ・ しかしながら、計画上、量子情報に関し広い領域をカバーし、総花的な側面もあるとともに、基礎探索的な色彩が強いことから、持続可能な体制で研究を継続することが望まれる。 ・ なお、本研究開発では、外国の大学へ研究の一部の委託を予定しているため、成果等に係る知的財産権等の取扱いについて聴取し、研究支援担当機関と案分する見通しであることを確認した。 ○ 間接経費について ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、中心研究者が再提出時に示した経費 A・B・C の比率を乗じて算出された額とする。

研究課題	グリーン・ナノエレクトロニクスのコア技術開発		
中心研究者氏名	横山 直樹		
中心研究者所属	株式会社 富士通研究所		
研究支援担当機関	独立行政法人 産業技術総合研究所		
主担当議員	奥村直樹	副担当議員	白石隆

研究費総額		再提出額	担当議員案	査定額
直接経費	経費 A	420,000 万円	385,000 万円	385,000 万円
間接経費	経費 B	16,992 万円	- 万円	15,576 万円
	経費 C	63,000 万円	- 万円	57,750 万円
合計		499,992 万円	- 万円	458,326 万円

	再提出額	担当議員案	査定額
サブテーマ1	217,334 万円	196,000 万円	196,000 万円
サブテーマ2	174,077 万円	165,000 万円	165,000 万円
サブテーマ3	28,589 万円	24,000 万円	24,000 万円
合計	420,000 万円	385,000 万円	385,000 万円

査定理由
○ 直接経費について ・ 低炭素社会の実現に大きく貢献する本研究課題であるが、世界のライバルとの競争が極めて厳しい分野でもあり、強力な産学連携によって目標達成することを強く期待すると共に、実現可能であると判断した。 ・ 研究資金については、各研究において費用効率化（メーカーとの折衝など）によって節約の努力を期待する。 ○ 間接経費について ・ 研究開発支援及び研究環境改善に関する経費については、中心研究者が再提出時に示した経費 A・B・C の比率を乗じて算出された額とする。